

中村瑞隆博士 年譜・著述論文目錄

中村瑞隆博士略年譜

本籍地 東京都品川区東五反田四丁目八十六番地二号

現住所 東京都品川区東五反田四丁目七番地十七号

出生

大正四年二月二十三日

青森県八戸市小中野町新町四十一番地

学歴

昭和十一年三月

身延山祖山学院卒業

昭和十六年十二月

立正大学文学部仏教学科卒業

昭和十七年四月

特別研究生として大谷大学に留学（昭和二十年三月まで）

昭和三十二年四月

東北大学に内地留学（昭和三十三年三月まで）

昭和三十八年十二月

デリー大学（インド）に留学（昭和四十年三月まで）

昭和四十一年二月

文学博士（九州大学）

職 歴

昭和二十年四月

立正大学専門部講師

昭和二十一年四月

立正大学予科講師（兼任）

昭和二十三年四月

立正大学専門部助教授

昭和二十四年四月

立正大学仏教学部講師

昭和二十五年四月

立正大学仏教学部助教授

昭和三十六年四月

立正大学仏教学部教授（昭和六十一年三月まで）

昭和四十六年四月

立正大学大学院文学研究科修士課程教授（昭和六十一年三月まで）

昭和四十九年四月

立正大学大学院文学研究科博士課程教授（昭和六十一年三月まで）

立正大学内における主な活動

昭和四十年四月

就職委員（昭和四十二年三月まで）

昭和四十二年四月

入学試験委員（昭和四十三年三月まで）

昭和四十三年四月

全学協議会委員（昭和四十九年三月まで）

昭和四十三年四月

財務委員（昭和四十六年三月まで）

昭和四十四年四月

立正大学インド・ネパール仏教遺跡調査団長（昭和五十三年三月まで）

昭和四十八年三月
昭和五十八年四月
昭和六十一年四月
平成十五年十一月六日

立正大学法華經文化研究所長（昭和五十八年三月まで）
立正大学長（昭和六十一年三月まで）
立正大学名誉教授
遷化

学会における主な活動

昭和二十八年十一月
昭和五十年四月
昭和五十年二月
昭和五十一年四月
昭和五十三年二月
昭和五十五年十一月
昭和五十六年四月
昭和五十六年四月
昭和五十七年八月

日本西藏学会委員（現在に至る）
日本印度学仏教学会理事（昭和六十一年三月まで）
文部省学術審議会専門委員（昭和五十二年一月まで）
日本ネパール協会評議員（現在に至る）
文部省学術審議会専門委員（昭和五十五年一月まで）
日本宗教学会理事・評議員（平成七年十一月まで）
日本学術会議会長（昭和六十年七月まで）
日本学術振興会委員（昭和五十八年四月まで）
国際アジア・北アフリカ人文科学会議委員（昭和五十九年五月まで）

中村瑞隆博士著述論文目録

(一) 著 書

- | | | |
|---|------------------|----------|
| 『釈尊とその思想』 | 昭和三十年十二月 | 平樂寺書店 |
| 『勝鬘經』 | 昭和三十五年七月 | 宝文館 |
| 『梵漢対照 究竟一乘宝性論研究』 | 昭和三十六年三月 | 山喜房仏書林 |
| 『蔵和对訳 究竟一乘宝性論』 | 昭和四十二年三月 | 鈴木学術財団 |
| 『故事名言由来』(共著) | | 自由国民社 |
| 『妖怪魔神精霊の世界』(共著) | | 自由国民社 |
| 『梵字事典』(共著) | 昭和五十二年四月 | 雄山閣 |
| <i>The Risho University Nepal Archaeological Research Report Vol. II, Tilaura Kot, Fortified Village in Terai</i> | | |
| excavated in 1967~1977. (編著) | | |
| 『梵文法華經写本集成』一卷、十二卷 (編著) | 昭和五十二年十二月、五十六年四月 | 梵文法華經刊行会 |
| 『法華經の思想と基盤』法華經研究Ⅷ (編著) | 昭和五十五年二月 | 平樂寺書店 |
| 『成唯識論演秘』(国訳一切經) | 昭和五十八年 | 大東出版社 |

『ほんとうの道 法華経』

昭和五十九年七月

集英社

『現代語訳法華経』上

平成七年十月

春秋社

『現代語訳法華経』下

平成十年三月

春秋社

『釈迦の故郷を探る』

平成十二年七月

雄山閣

The Rishshō University Nepal Archaeological Research Report Vol.I, Tilaura Kot, Fortified Village in Terai
excavated in 1967～1977. (編著)

平成十二年十二月

立正大学

(二) 論文

「三宝と如来蔵に関する一考察」

昭和二十五年六月

『大崎学報』九七号

「仏不共法論」

昭和二十六年十一月

『望月敏厚先生古稀記念論文集』

「究竟一乘宝性論に表れた仏身論」

昭和二十八年三月

『印仏研』一一二

「勢至菩薩経について」

昭和二十八年九月

『棲神』二九号

「入一切仏境界経に就いて」

昭和二十八年十月

『大崎学報』一〇〇号

「法身の系譜」

昭和二十八年十二月

『宗教研究』一三七号

「宝性論の梵漢対照」

昭和三十年六月

『大崎学報』一〇三号

「宝性論の梵漢対照」

昭和三十年十二月

『大崎学報』一〇四号

「宝性論の梵漢対照」

昭和三十二年六月

『大崎学報』一〇六号

「宝性論の梵漢対照」

昭和三十二年十二月

『大崎学報』一〇七号

「宝性論の梵漢対照」

昭和三十三年六月

『大崎学報』一〇八号

「宝性論の梵漢対照」

昭和三十四年二月

『大崎学報』一〇九号

「宝性論の梵漢対照」

昭和三十四年六月

『大崎学報』一一〇号

「西藏訳如来蔵經典群に表れた仏性の語に就いて」

昭和三十五年三月

『日本仏教学会年報』二五号

「央掘摩羅經に就いて」

昭和三十五年十一月

『福井博士頌寿記念東洋思想論集』

「阿含經典の Jatarūpa 喩について」

昭和三十八年三月

『印仏研』一一—二

「如来蔵考」

昭和三十八年十二月

『大崎学報』一一七号

「二種の四徳」

昭和四十一年三月

『印仏研』一四—二

「界 dhatu について」

昭和四十一年十月

『金倉博士古稀記念印度学仏教学論集』

「一乗思想解釈の展開——特に三車・四車について——」

昭和四十三年三月

望月敏厚編『近代日本の法華仏教（法華經研究Ⅱ）』

「大法鼓經における二・三の問題点について」

昭和四十四年十二月

『福井博士頌寿記念東洋文化論集』

「ビル図書館所蔵の四枚の法華経ギルギット写本について」昭和四十五年三月

金倉圓照編『法華経の成立と展開（法華経研究Ⅲ）』

「（書評）小川一乗 インド大乘仏教における如来蔵・仏性の研究」

昭和四十五年十月

「仏教学セミナー」十二号

On the Four Sheets of Gilgit Manuscripts of Saddharmapundarika-sūtra in the Bill Library. Añjali. 1970.

「種論と仏子」

昭和四十六年七月

「大崎学報」一二五・一二六号

「宝星陀羅尼経断簡」

昭和五十年三月

「法華文化研究」創刊号

「西藏訳正法蓮華註と法華玄賛に見られる三草二木喩」

昭和四十七年三月

坂本幸男編『法華経の中国的展開（法華経研究Ⅳ）』

「法華経の位置」

昭和四十七年十一月

『講座日蓮』

「法華経の成立過程」

昭和四十七年十一月

『講座日蓮』

「心光浄説より心性光浄説へ 客塵煩惱との関連を中心として」

昭和五十年九月

『煩惱の研究』

Dam pa'i chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po'i mdo (1)

昭和五十一年三月

「法華文化研究」二号

「チベット比丘パクパの『正法白蓮華の釈義について他の誤解を破斥する』について」

昭和五十一年三月

野村耀昌編『法華経信仰の諸形

態（法華經研究Ⅵ）』

「インドの仏教」

昭和五十一年九月

『仏教考古学』第一卷

Dam pali chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (2)

昭和五十二年三月

『法華文化研究』三号

「ピプラハワ発掘の今昔と問題点」

昭和五十二年三月

『印仏研』二五—二

「大乘密嚴經に説く密嚴浄土」

昭和五十二年三月

『日本仏教学会年報』四二号

Dam pali chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (3)

昭和五十三年三月

『法華文化研究』四号

Miscellanies about Gāthā of Saddharmapundarikāstra. Indian Archives Vol.27. 1978

「如来蔵と法華經の法身考」

昭和五十五年二月

中村瑞隆編『法華經の思想と

基盤（法華經研究Ⅷ）』

Dam pali chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (4)

昭和五十五年三月

『法華文化研究』五・六号

「宝性論の注釈について—Vairocanaraksita の Tippani—」

昭和五十五年三月

『印仏研』二八—二

「バイローチャナ・ラクシタの宝性論註 智光明莊嚴經からの引用の九喻について」

昭和五十七年一月

『大崎学報』一三五号

「如来蔵思想と法華經の交渉」

昭和五十七年二月

塚本啓祥編『法華經の文化と基盤（法華經研究Ⅸ）』

Dam pahi chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (5)

昭和五十七年三月

「法華文化研究」八号

「如来蔵の体系」

昭和五十七年五月

『講座 大乘仏教』第六卷

「如来蔵と解説」

昭和五十七年十月

『仏教思想』第八卷

On Vairocana-rakṣita's Commentary of the Ratna-gotra-vibhāgottara-śāstra. Journal of Jayaswal Institute.

The Mahayana tatarantra-śāstra-tīpāṇi by Vairocana-rakṣita

昭和六十年六月

『平川彰博士古稀記念論集 仏教思想の諸問題』

Dam pahi chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (6)

昭和六十年三月

「法華文化研究」十一号

Dam pahi chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (7)

昭和六十一年三月

「法華文化研究」十二号

Dam pahi chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (8)

昭和六十三年三月

「法華文化研究」十四号

Dam pali chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (9)

平成二年三月

「法華文化研究」十六号

Dam pali chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (10)

平成五年三月

「法華文化研究」十九号

Dam pali chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (11)

平成六年三月

「法華文化研究」二十号

Dam pali chos pad ma dkar po shes bya ba theg pa chen po hi mdo (12)

平成九年三月

「法華文化研究」二十三号

(三) 雑誌

「法華経文化研究所と坂本先生」

昭和四十八年十月

「大崎学報」一二七号

「カピラバスト発見」記について

昭和五十一年八月

「大法輪」

「仏伝をめぐって」

昭和五十二年一月

「法華」六三一

「調御師」

昭和五十三年七月

「青淵」

「ネパールと仏教の起源」

昭和五十七年

「仏教文化講座（浅草）」二七

「同窓の先達の心に触れて」

昭和五十八年八月

「サルボダヤ」

「新しい学術研究体制の方向」

昭和五十八年十一月 「大学時報」

(四) 新聞

「カピラ城のナゾ」

昭和四十三年二月二十五日 「読売新聞」

「カピラ城のナゾ 第二次調査を終えて」

昭和四十四年三月九日 「読売新聞」

「カピラ城跡付近 バナガンガ川」

昭和四十四年五月十一日 「読売新聞」

「カピラ城跡付近 父王と義母の塔」

昭和四十四年五月十八日 「読売新聞」

「カピラ城跡付近 カピラ城西門」

昭和四十四年五月二十五日 「読売新聞」

「カピラ城跡付近 弦の楽器をひくサドー」

昭和四十四年六月一日 「読売新聞」

「カピラ城跡付近 カピラ仙人の井戸」

昭和四十四年六月七日 「読売新聞」

「カピラ城跡付近 アシヨカ王の石柱」

昭和四十四年六月十五日 「読売新聞」

「カピラ城跡付近 サーガルハワコットの山小屋」

昭和四十四年六月二十二日 「読売新聞」

「カピラ城跡付近 タウリハワの町」

昭和四十四年六月二十九日 「読売新聞」

「カピラ城跡付近 チェトラコットの子ども」

昭和四十四年七月六日 「読売新聞」

「カピラ城跡付近 猛暑の季節」

昭和四十四年七月十三日 「読売新聞」

「カピラ城跡確認へ 第三次調査団」

昭和四十五年十二月十三日 「読売新聞」

中村瑞隆博士 年譜・著述論文目録

「掘り進むカピラ城跡」

昭和四十六年三月七日

「読売新聞」

「ネパール仏跡調査報告」

昭和四十七年五月二十八日

「読売新聞」